

## 平成 28 年度学校評価について（まとめ）

対象	実施時期	回収数	備考
職員	9月, 1月	60名, 61名	年2回実施
生徒	12月	932名	HR等で実施
保護者	12月	797名	事前に配布し面談時に回収
近隣中学校	12月	41校	在籍生徒の出身中学を対象

※ アンケートの評価点 4.思う 3.どちらかといえば思う 2.どちらかといえば思わない 1.思わない  
0.わからない

### 1 職員対象の調査から

具体的な目標・方策に対する評価は、概ね良好な結果が出ている。各校務分掌の計画に従い、全職員協力のもとに様々な施策に取り組んできた結果とみることができるが、今後更に取り組むべき課題としては、「授業に関する研究体制」の充実があげられる。特に、アクティブラーニングを中心とした生徒の主体的な授業の取り組みについて、さらなる研究が必要である。

### 2 生徒対象の調査から

#### (1) 評価点平均の高い項目について

アンケート全 49 項目のうち 37 項目が平均点 3.0 を超え、多くの生徒が学校生活を充実したものと捉えていると考えることができる。それらのうち、平均点が特に高いものは、次の 2 項目である。

「日々の生活指導が、体罰によらない適切な指導だと思いますか。」(3.5)

「校歌が歌えますか。(1番まで)」(3.4)

#### (2) 評価点平均の低い項目について

平均点が 2.5 を下回っていた項目は、「自分の年次の目標や指導方針を知っていますか。」(1.7), 「図書館をよく利用していますか。」(1.9), 「単位制が進路実現に有益だと思いますか。」(2.1), 「生徒会活動に関心を持っていますか。」(2.2), 「本校で命や人権の大切さを学ぶ機会がありますか。」(2.4) の 5 項目である。これらの項目の評価については、今後、引き続き改善に努めていく必要がある。

#### (3) 年次による変化

「進路について考えたり、情報を集めたり、その自己実現のために努力していますか。」の設問のように、評点 3 以上をつけた生徒の割合が、1 年次(67.2%), 2 年次(70.1%), 3 年次(88.5%) と上昇している項目が 12 項目ある。「自分の学校生活が充実していて、将来にとって有益だと思いますか。」の設問のように、同 1 年次(79.4%), 2 年次(76.0%), 3 年次(81.95%) と 3 年次が最も高くなっている項目が 30 項目ある。一方、この設問のように 2 年次の評価が最も低い項目が 25 項目ある。3 年次の評価が高い一方、2 年次の評価が低いという傾向が見られる。

### 3 保護者対象の調査から

全 21 項目のうち、11 項目で平均点が 3.0 を超えた。それらのうち、特に高いものは、次の 2 項目である。

「本校にお子さんを入学させてよかったですか。」(3.5)

「本校で、お子さんは毎日楽しく学校生活を送っていると思いますか。」(3.4)

平均点が 2.5 を下回っていた項目は、次の 2 項目である。

「本校では、お子さんが、命や人権の大切さを学ぶ機会が十分にあると思いますか。」(2.2)

「本校では、保護者の方々にとって、PTA 活動に参加する意欲がわくような工夫をしていると思いますか。」(2.4)

である。教科指導の他にも、LHR や道徳の充実、PTA 活動の活性化など、何らかの改善のための工夫が必要である。

### 4 中学校対象の調査から

本年度も本校の教育活動について非常に高い評価をいただいた。それらのうち特に低いものは、「本校では、生徒の適性或健全な社会人として育成するような指導が行われていると思いますか。」(3.2)、「本校では面談を通じて十分な個別指導が行われていると思いますか。」(3.2)、「本校のホームページや学校案内等は充実しており、わかりやすいと思いますか。」(3.2) である。

本校の目指す「活力ある進学校」「個に応じた学習指導」及び「自主自律の人づくり」の目標達成に向けた指導体制の確立し、創意と工夫をもった実践の適切な情報発信に取り組みたい。

### 5 まとめとして

本年度のアンケートでは、生徒、保護者、近隣中学校から高い評価を得ることができたが、一方では自由記述等を通して改善を望む声も聞くことができた。今後とも現状に満足することなく、本校の目標達成を目指して取り組んでいきたい。

※ 学校評価の詳細は本校のホームページをご覧ください。